

# みなとが支える 私たちの暮らし life

Ports-  
gateway  
to the world

## 世界の国に 支えられている 私たちの暮らし

人間の生活の基礎は「衣・食・住」であると言われますが、わが国は、この衣食住に関わる品物の多くを海外からの輸入品でまかなっています。

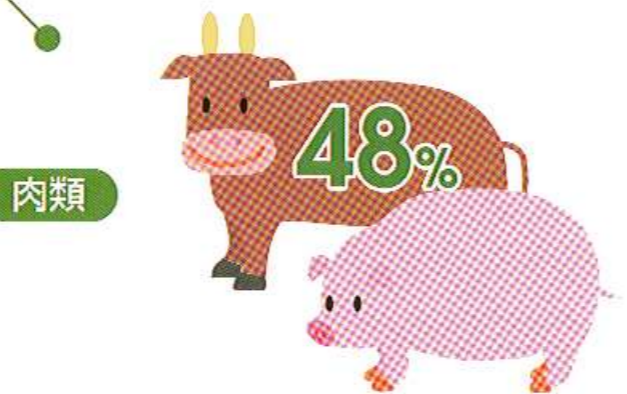
たとえば、日々の食事に欠かすことのできない魚や肉、また、米を除く穀物の大半は海外からの輸入品であり、わが国全体の食料品のうち、じつに60%近くが海外からの輸入品です。

また、わが国は世界でもトップクラスの工業生産額を誇っていますが、そうした金属や機械類を作るための原材料は、100%近くを輸入に頼っています。そして、生活を支え、産業を支えている原油や石炭、ガスといったエネルギー資源も、ほぼ100%が海外からの輸入品です。

このように、私たちの暮らしに必要な品物の大半は、海外からやって来ています。

## 食料の海外依存率は 60%です。

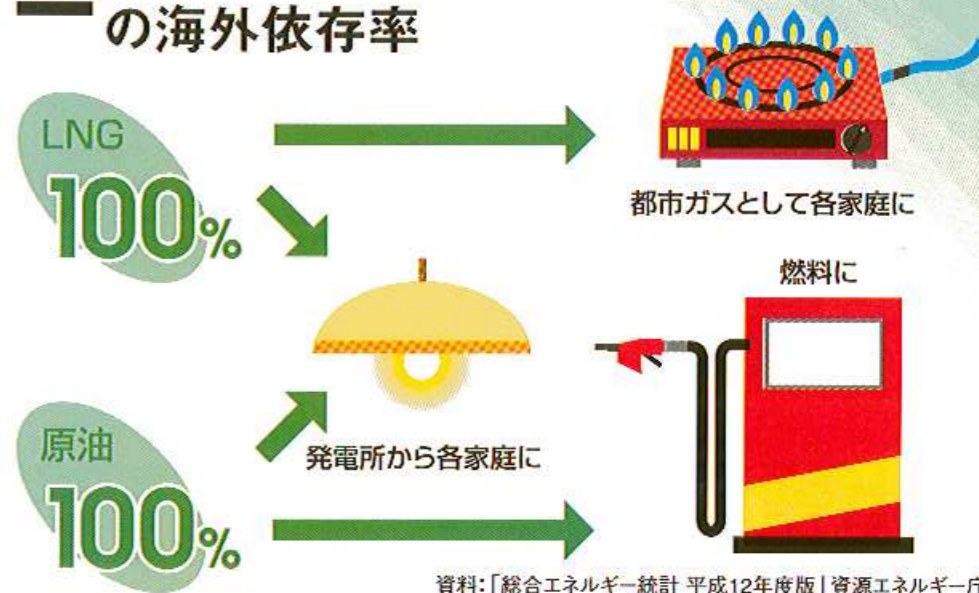
わが国で一年間に消費される食料品のうち、60%が海外からの輸入品です。たとえば、伝統的な日本の味である醤油や味噌、豆腐などの原料となる大豆は、その95%が輸入品でまかなわれており、私たちが食べ慣れている「にっぽんの味」は、輸入品がなければ味わうことができなくなっています。



資料:「食料需給表 平成12年度」農林水産省

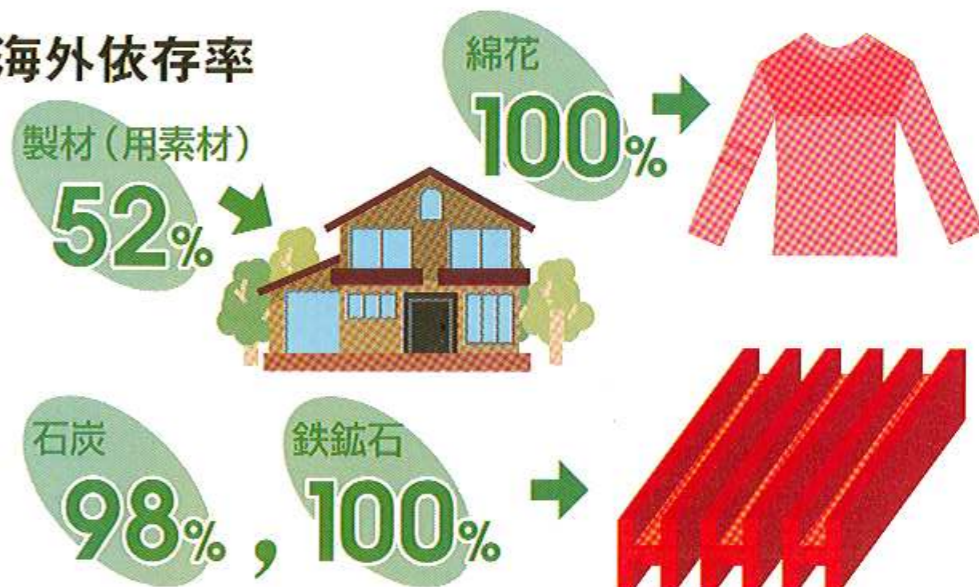
## エネルギーの海外依存率

電気、ガス、ガソリンなどは、現代の生活にとって欠かせないものです。しかし、日本ではこうしたエネルギーを作りだすために必要な原油や天然ガスなどがほとんど産出されないため、ほぼすべてを輸入にたよっています。輸入されたLNG(液化天然ガス)や石油は火力発電所で電気となり、各家庭に供給されます。また、原油はエネルギーのみならず、プラスチックや化学繊維などの石油化学工業品の原料としても使われています。



## 原材料の海外依存率

私たちの住んでいる家や衣服、またさまざまな工業品の原材料も、その大半が輸入でまかなわれています。とくに、住宅の建設には欠かせない製材などは、その52%が輸入品であり、国内の木材だけで家を建てるのはかなり難しいと言えます。また、一大工業国である日本は、さまざまな金属や機械類を海外に輸出していますが、工業原材料となる鉄鉱石や石炭などは、ほぼすべてが輸入によってまかなわれています。



## 暮らしの中にひろがる輸入製品

我が国は優れた電化製品などを世界に輸出してきましたが、近年はアジア諸国の経済成長に伴い、アジア諸国で生産された安価で良質な製品の輸入が増加しています。カラーテレビなどの電化製品から下着まで、私たちの身近にある多くの製品が、海を越えて私たちの家庭にやってきています。

